京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

寄書

出來た韓娼檢黴（上）

近頃所轄署は管内に於ける韓娼妓に對し公衆衛生上檢梅を勵行したる結果七十一名中十名の有毒患者を出し且つ七十一名の檢梅忌避者の生じたるは唯本紙の報導したる處なり抑も警視廳が這回韓娼妓に對して檢梅を斷行したる所以は無論花柳病傳播豫防策の第一着手として決行したるならん吾人は此の擧を双手を擧げ賛同せんばあらず何となれば今や日本人賣春婦のみ檢梅を行ふと雖もこれを以て完全なる花柳病豫防法となすは最も誤りたる意見なればなり花柳病が如何に社會の秩序安寧公衆衛生上有害なるかは今更ら吾人が喋々の要なかるべし既に東都に於ては花柳病豫防會なるものを設け屢々帝國議會に向つて提出され現に宿題として研究しつゝあるは何人も知る處ならん加之本年一月に入りては東京日本橋區濱町附近に於て盛んに風俗を亂し花柳病傳播の本家たりし所謂高等内侍なるものは殆んど撿擧され何れも商賣換の有樣にあり又一方には藝妓にして尙ほ純然たる娼妓の行爲をなすものあるを以て東京警視廳は藝妓常用の車屋及待合等に夫れ〳〵刑事巡査を派して若しも待合に宿泊し晩に歸る等の事ある時は容赦なく現行犯として拘留に處するのみならず必ず檢梅を實施すと斯くの如くして花柳病豫防は又々困難を感じつゝあるにこれに反して京城は如何と云はゞ十數年前は行政衛生の完備せざると幾分殖民的思想の充溢し居りしため緩和なる處置を執りしならんも今日に於ては既に衛生機關も完備し本邦行政と些々の異なる處なきものなれば敢て緩大の處置を執るの必要なきのみならず却つて嚴重なる拘束を加ふるも決して差支なきなり然るに現今の狀態を見るに新町は公設遊廓なれば定期檢黴及び身體檢査を行ふと雖も各地に散在せる小料理店の酌婦即ち賣春婦なるものに對しては彼等が官憲の眼を晦すために自衛上ち彼等のなすがまゝ放任し置き即と稱して一週一回健康診斷を受くるに過ぎずこれとて決して信賴するに足らず何となれば診斷の結果有毒者と認むるも公事にあらざるを以て藥餌に身を委すると雖も一方に於ては盛んに春を賣りつゝあるを以てなり（大頭生）

滿洲大豆の在高

滿洲に於ける大豆の現在高は滿鐵沿線に在りては大約遼陽七万石、奉天十萬石、鐵嶺三十萬石、開原十万石、長春十一萬石内外にして其他は一萬乃至五萬石の間なるべく而かして毎年解氷時期前後に至れば必らず多少相場の騰貴するを常とするより昨今各地問屋筋は何れも其時期の到來を待ちつゝあるものゝ如く此結果として自然買溢りの傾向を呈し來れりと云ふ

滿洲懸案の交涉

日淸間に於ける對滿洲懸案は錦愛鐵道問題の蹶起に依りて一時中絶の姿となりしが双方協議の上本月下旬までには本溪湖炭坑、撫順炭坑課税、京奉線引込問題等に關する交涉を開始することに決定し居れりと當局者は語れり

●日滿聯絡運輸開始

來る四月一日より鐵道院と南滿鐵道株式會社線露國東淸鐵道會社線（烏蘇里線を含む）との間に大阪商船株式會社並に露國義勇艦隊の敦賀浦鹽航路の滊船を介し旅客手荷物の聯絡運輸を開始することゝなり其等の賃率規定を發布されたりと

地方通信

▲平壤通信

▲順川暴民と暴徒 過般順川に於て暴徒事件を惹起したる暴民等の一部が其後我官憲の嚴重なる搜査追捕を受けたる爲め又は其他の事情の爲め或者は身を容るゝに所なきより或者は自暴自棄の精神より其後暴徒の群に投じ彼等と共に非行を逞ふしつゝある事は曾て記する所ありしが夫かあらぬか近日順川郡地方には比較的他の地に比し暴徒の出沒するもの多く隨て良民の被害も甚しきものある由なるが今先月中旬より本月十日迄に至る同郡内に於ける之が被害狀況を云せば（二月二十七日）順川郡濟南面中上里（殷山西南二里）に三名（同二十八日）同郡盆池面三上里（殷山東南四里强）に八名（三月一日）同郡龍化面新龍里（殷山南方四里）に六名（同二日）同郡楓田面石橋里（殷山西南方二里半）に五名（二月二十七日）同郡山下里（殷山西南方二里半）に五名（二月二十七日）同郡五灘面中陽里（殷山西方四里）に三名都合同期間に於て六回の暴徒襲來したるが右に就き其筋に於ては目下嚴重に之が討伐搜査中なりと

▲平壤の市場稅額 平壤市街に於ける豫定稅額は年三百餘圓なるが若し從前の如く唯定日の市場に於て徵收することゝせば到底其全額の徵收を見る能はざるべきも之を一の營業稅として各店鋪を有せる者より徵收することゝ爲りたる結果は豫定の三百餘圓を徵收するは最も容易の事なるも他市場に於ては豫定の額に達するは甚だ至難なるべしとの事なり

▲安州市場稅徵收近況 紛擾を釀したる安州財務署管内に於ける市場稅徵收の近況を聞くに同所に於ては平壤に同しく民間より委員廿四名を撰出して之に市場稅を徵收せしむる事と爲し商李實務を委員長、客主崔貞泰を副委員長と定め又た委員中より互撰にて管理人一名を定め徵收に從事せしめしところ委員中には曩に市場稅に反對を唱へたるもの八名あれども今日では聊かの不平をも唱へず目下同地方の市場稅徵收は極めて平穩の間に行はれつゝありと彼の常設店舗の如きすら穩かに之れが徵收に應じ居るさいへり

▲市場の錬と賣行 平壤市場にれける錬は目下亞米利加產のみにて釜山產は二月二十日頃を以て糴期を終了せるため當市場には品なく相場立たず亞米利加產は一箱十七圓五十錢にて相當賣行あり殊に農夫が已に農事に着手し初めたる今日とて六月頃迄は賣行增加すべしとなり

日本銘刀傳

第七十一席 邑井一講演

此方は天狗の謙太請合つたからニャア跡へは引かない義侠に富んだ人物 藤「ヤイ 乾見「親分さん何か御用でございますか 藤「サア皆集めろ 子「へエ小幡の金六、白澤の八兵衛、高麗寺の爲、上田中の忠藏、夫れに韮崎の傳次、斯う云ふ皆な小確かりしたものを呼び集めました、間もなくゾロ〳〵這入つて來る 金「へエ親分今日は、親分何か御用でございますか 八「ヘエ親分今日は 藤「ヤア皆呼び立つて濟まねねのう 金「何う致しまして、何か御用で 藤「外のことぢやアねね、今度俺が男づくで引と云ふ奴を生捕るのだ 金「へエ……面白ろい話しですねへ、其樣なことは結構だ、れやんなすつたら宜うございませう造作アねねで 藤「就ちやア流言の計略を回らして呉れ 金「へエ流言の計略だア、何んなことをやらかすんで 藤「街道へ出て手前たちア、馬を牽いたり荷背負になつたりして、鎌倉の刀鍛冶が足を痛めて楢澤と云ふ處の某農民家で治療をして居る、夫れに出遇て鎌倉の話しを聞いて見たら、鎌倉なんざア當時京都も及ばねへ、大層だと云ふやうなことを何んでも宜いから、手前達は口から出まかせに吹聽をして、彼受けたことがあるんだ 金「夫れはもう親分のことだから毎度だ、稼業も同樣だから結構でございます 藤「就ては何うだ皆引受けてやつて呉れるか 金「やるにも何にも大やりで、マア何んな寸法でございます 藤「手前達は知るめねが、堤下の勘太と云ふ野郎の處に居る鎌倉無宿の三郎と云ふ惡漢だ、こりやア諏訪から追ひ込んで來たんだデ、鎌倉の刀鍛冶で、此の土地の修行の師匠夫れに附てる弟子、其の師弟三人是れを殺付けちまはうと云ふ、先方は了簡なんだ 金「なアるほど 藤「其奴を反對に此方が途中で抑へて、其の中の三郎の按排ヂヤア十日や十五日は療治に掛るだらうてへことチョイ〳〵と高調子で話して呉れ 金「宜うがすとも」そこで各自自分達の乾見があるから、其の乾見へ言附け宿場〳〵へ馬を塗したり荷背負になつて出て居ります、茶店だの又た樹の切株へ腰を掛けて、太い調子で話しをして居る 甲「ヤ向ふ山の乙「アンダ 甲「何が面白い話しのうねねか 乙「相變らず何もねねのう 甲「主等アはア在方へ行くから何か異つたことはねねか 乙「在方へ往つたつて別段にはア異つたことはねへだ、何うだ俺ア考げいたが、主等の前だが鎌倉ア楽い所だとなア 甲「そりやアれ鎌倉ア天子樣に代つて、政治のう執つて居る人が居るから、宜くなくつて何うする者か 乙「何でも鎌倉へ往つたら、無へものはねねよう 甲「夫りやア當然のこどだ 乙「あんだつて日本のことは、彼處から割出して來る、當國の御領主樣だい、大名だのと言つて皆鎌倉のれ指揮に從がふだア 甲「汝ア一体鎌倉の話しをしたが、何處から聞いて來たんだ 乙「あにのう此の在方で鎌倉の刀鍛冶が三人てへ者、足を痛めたんだ 甲「危ねね何うしてよ 乙「何でも惡漢に附けられただア 甲「ハヽア 乙「夫れがために横道に曲れて、惡漢の難を免れやうと思つて 甲「ハア 乙「山の中へ迸入つたんだ、所を竹の斜切に足を通したゞ、夫れだから前等の前だが、駄目へ込んでチョツくら歩行けるとんでねね 甲「旅行先きで足なんぞを痛めて氣の毒なもんだ 乙「夫れがなア、在方の俺が知つてる家で療治のうして居るんで、まあ早く癒つた所が十四五日は要るんだ 乙「然うだのう、然う云ふこつちやあ」と頻りに話して居る、斯う云ふ調子で、五組六組も方々へ出して話しをして居る、此方は本街道を追ふて來た三郎、堤下の勘太、諏訪の五郎藏、高島の早太、勘太の子分の咲藏の五人 勘「オイ三郎 三「何だ 五「手前が目指す四割一分の仕事ニャア出遇ねへせ、此りやア 三「待つて呉んねへ、俺が少し聞き込んだことがある」



京城新報

大隈伯の外遊說（四）

今の時に於て國民上下の希望

明治十四年後に於ける大隈伯は他の元老連よりは破壊者と目さるゝこととなつた。知らぬ役人よりは奸雄と目さるゝものとなつた。併し伯の國家的經綸に對する誠意は彼の條約改正の時に於ても明かに現はれたのである。只惜らくは伯の條約改正案も[illegible]表面贊成者は裏面に於て反對したる伊藤の爲に破られた[illegible]

紙幣には國境ありと雖も硬貨には國境なし[illegible]國際的價値を[illegible]

早稲田の一隅より發して全世界の津々浦々[illegible]外人の崇敬の念は今日に於て殆ど絶頂に達した。[illegible]包圍しつゝあるのである。[illegible]誤解は現に我帝國[illegible]東方戰爭の爲に準備[illegible]防備に勉めて居る[illegible]佛領支那[illegible]日英同盟は我外交の幹線である[illegible]英人の本國に對する態度亦此の如くならず。若し夫れ獨の小姑[illegible]

米の成金的排日に至つては言語同斷手の附け樣なしの觀があるのである。列國の我に對する態度の激變も一は我國運の激上に對する岡燒から來たのである。併し仔細に靜察すれば實に彼等の我に對する誤解から來たのである、戰爭は誤解を解くに最も便だ、併し砲火を以てせざれば我眞意を排日者流に通じ能はずとせば我君國の恥だ。茲に到つて人道宣傳の爲に巨人大隈を煩はさゞるを得ない、早稲田國寶の輸出は其眞意義を實に此邊の事情に有するのである。

東京電報

▲清國皇族の歡迎 八ヶ國陸軍視察の爲め廿八日入京さるゝ[illegible]清國皇族中の陸軍通にして海外出遊は今回が初めてなるが近時清國と我國と漸く接近し來れるは[illegible]最も喜ぶべき事なれば[illegible]を好機とし盛んなる歡迎を[illegible]

▲騎兵操典の改正 陸軍[illegible]典の改正に伴ひ騎兵操典[illegible]り之に着手し不日脫[illegible]（十八日）

▲列國議員參列 列國[illegible]會議議員數非常に多き豫定なれば各派按分比[illegible]月開會の師團長會議[illegible]（同上）

▲教育基金の配分 文部[illegible]十三年度より各府縣[illegible]教育基金利子五十萬圓[illegible]決する筈也と（同上）[illegible]近く使用規定に準[illegible]發し來る四五の兩月[illegible]を行ふべし（同上）

▲鐵道幹部の移動 鐵道[illegible]會閉會後年度變りと[illegible]位置を占め居る一二[illegible]命じ御は同時に二三[illegible]あるべし（同上）

歐洲電報

▲英紙と日米關係 此程[illegible]トに現はれし記事を[illegible]新聞は一般に注意し[illegible]說又は日本關係に言及[illegible]（十八日）

▲列國議員會期繰上 九月ブラッセルに開かるゝ筈の列國議員會議は多分七月に繰上げ開催さるべしと

▲英國々債の發行 英國政府は千九百十年より豫算案は政爭の未だ確定せざるも同國政府は差當り次年度財政補塡攻究費として本日國庫債券三千百萬磅を發行す（十九日）

▲露國議員の愚論 露都來電に依れば議員ククオコフ氏は議員に於てイスホルスキー氏の極東政策を痛切に非難し露國は日本と親和して之により清國より露國が敵とせらるゝは大間違なりと論せりと

紐育電報

▲大統領と戰爭說 國務卿ノックス氏は極東問題に對し何等說明せずタフト大統領は戰爭說は事實に於ても感情に於ても全然根據なる笑ふべき流言に過ぎずと公言せりと（十八日）

雜報

有望なる朝鮮の黑鉛（下）

鑛山主は多くは技師の報告を求むるものなるが、之れ自然の事とは云ひながら寧ろ誤解を來すの危險なきにあらず鑛山技師なるものは、如何に拔群の技倆ありとするも其報告は畢竟黑鉛の蓄積量及び採掘費の概算に過ぎずして黑鉛の種類を分離することを得ず又化學上の分析も誤報多くして困難を惹起する事あり、然るに此點こそ最も必要なるものなれば、製造家の要求と直接の關係ある實際的の技師の報告に依らざるべからず

而して鑛石採掘後の處置はまた極めて注意を要すべきものにて

一、粗鑛のまゝにて販賣すべきか
二、製煉すべきか

に就ては、是非とも實際商業に經驗を有するものゝ意見に待つべきことなれども此種の意見を徵するに往々困難あるが故に、其必要も看過せらるゝ事なきにあらず次に注意すべきは黑鉛を市場に提供する事なるが元來黑鉛には一定の市場なく、且つ此の鑛石のことを知るもの極めて寥々たる上に販賣者の遭遇せる需要家は皆各自の專門的範圍の使途を有するを以て、多くは其云ふ所、我田引水に傾き販賣者より見れば其何れが正確なりやを判定するに苦しまんされば世界の大市場に於ける當業者の意見を徵するも、到底其の眞相を穿つこと能はざるべし

斯く見來れば、朝鮮に於ける有望なる黑鉛事業も其初期に於て既に幾多の困難あるが如しと雖も、亦自ら良策の無きにあらず、即ち鑛山主は此等困難なる各階級の經驗を得るにあり然れども實際に之を鑛山主に望むは寧ろ難事とせざるべからず、只夫れ採るべきの手段は前記の三要點に關して最も通曉せる技師の意見を徵する事なるが、この三要點に精通せる技師其人また極めて稀有なるが、本通信者たる倫敦アーサー、フランウエル會社の如きは、現時世界唯一の斯業者なれば、前途に多大の利益を有する韓國黑鉛業に既に從事せると亦其計畫中に屬するとは問はず

一、其計畫事業が果して無益のものなりや
二、試驗的に投資するの價値ありや
三、果して斯業に有利なる點ありや

の諸點に關し、事業の失敗を避け成功を期せんとせば右會社は喜んで其意見を通報すべく右の手續は仁川英國代理領事に照會せば目的を達すを得べし。

韓國に於ける利源は開發するに從つて事前の豫期よりは收獲多きが如し、今若し黑鉛業に從事するに於ても、亦然るものあるが如し、之れ內外資本家並に一般需要家の注目して措かざる所也

昌德宮の宴遊會

宮內府にては博物館動物園植物園の設備略完成せるを以て十九日午後二時より吾が文武高等官民間有力者新聞記者特派員及韓國側各官民約一千名を招待して遊覽に供したり御苑內は處々十數箇所の天幕を張り詰め日韓料理の珍味を盡せる模擬店を造らへ餘興には仲券妓數十名韓妓五十餘名數組に分れて舞踏を演じ時に又立食の宴會場ありて來賓一同を此に請じ歡待到らざるなく閔宮相起ち一場の挨拶を述べ石塚長官朴內相之に答へ和氣藹々として天下は彌やが上にも泰平を示しぬ而して韓皇及皇后には數百年來曾て見ざる舊慣を破り午後二時四十分馬車に同乘女官式部官侍從武官を隨從して大造殿を出で御苑へ行幸啓あらせられ服裝は皇帝にはモーニングの蕭洒たる御服裝又皇后には最と麗わしき韓裝にて馬車御同乘の儘庶賓と共に苑內を逍遙されたる後映花堂の餘興場に赴き官妓或は樂手の奏演を樹はれて御喜悅斜ならず午後三時四十分還行在らせられたり當日は天氣殊に快晴にして春霞苑內に靉靆き溫室の百花爛熳として春を誇り得も言はれぬ行樂の歡を盡くし得たり

韓鐵豫算の內譯

韓國鐵道の豫算は本期議會に於て原案の通り通過せしことは既報の如くなるが今其の內容に付き當局者の云ふ處を聞くに明治四十三年度より五十三年度に至る十一年計畫の總額金は三千六百八十二萬三千五百二十四圓にして來年度豫算即ち來る四月より着手すべき工費の內譯は

金三百五十萬圓 四十三年度建設改良費

內譯

金百五萬七千五百四十七圓	京義線
金七十万三千六百一圓	平南線
金二十三万五千圓	湖南線
金二十三万五千圓	京元線
金十三萬四千八百五十二圓	總係費
金百十三萬四千圓	車輛費

にて之を十一年計畫年度別にする時は

金四百五十万圓	四十四年度分
金四百六十三萬四千圓	四十五年度分
金三百五十万圓宛	四十六年度より五十二年度に至る七年間の年割額
金二百五十二万七千百二十五圓	五十三年度分

右は本年度より向ふ十一箇年間に支出すべき工費の年度割なるが以上の工費中には本年確定せし豫算の外に既定豫算の二百八十三萬七千六百一圓を含み居れりと云ふ

●林籍調査に付注意 農商工部山林局が既報の如く全國の林籍調査に着手し既に平壤方面を開始し近々更に二三組の實査員を派出すべきが該調査は韓國に於ける森林狀態を明かにし併せて薪材需要の程度と各山林の供給力とを比較研究し以て森林行政の基礎を確定せん爲に外ならずして決して彼の土地調査の如く權利關係を定むるものに非ざれば所在民は此心を以て官憲の調査に便宜を與ふるを要すと

●東拓漁業免許出願 東拓會社は鴨綠江より清川江に亘る百八十海里の漁業を來る四月より開始すべき筈なるが之が爲めに過般農商工部へ免許漁業の出願を提出せしも猶ほ其開始に伴ふ各般の設備則ち漁獲物の販賣を如何にすべきか又之が貯藏の方法如何或は移住漁民に對する待遇並に夫等需用品の供給方法鮮魚の輸送給水の設備等に關し目下內議中なれば之が決定あり次第正式許可の手續あるべしと

●安の死刑と還元節 安重根の死刑執行期は來る廿五日と決定し居るに恰れて再延期を出願せるも到底聽許さるべきもあらざるが唯だ當日は韓皇の誕辰日即ち還元節に相當するを以て其節にては彼が韓國人たるの故より猶豫を與ふ可しとの詮議ある由なれば多分當日は執行せられざるべしと

●兇漢李在明の辯護 兇漢李在明は某日本人辯護士に辯護を依賴することに決定したりと云ふ

●調査局の分課規程 十九日土地調査局分課規程發布さる

●宣教師歸國敎徒 宣川在住の米人宣教師魏大模事ウヰテモアーは今回歸國に就き敎徒等は永久不忘と刻せる銀製徽章を增與し多年在留の功勞を表彰すると共に惜別の意を表せりと云ふ

●石塚長官の招宴 石塚長官は來る二十八日午後七時より米總領事シドモア氏英總領事ボーナー氏夫妻等十餘名を官邸に招待し晩餐會を開く筈なりと

全道教育情態（續）

全羅南道に於ては時勢の進運に伴ひ兩後の筍の如く學校は設置せらる之等學校の主なる目的は日本語の研究にあり日本人敎師を得て語學を研究すると共に文明の知識を得んとするは一般の希望なり各地とも形式にもせよ學校の設置なきを恥とするが如し其職員敎科目の如き一見頗る正備學童數も頗る多數を算すと雖も其內容に至りては何等施設の見るべきものなく又基礎の確固なるものなく單に皮相の進步を夢想しつゝあるに過ぎず

咸鏡南道に於ては公立普通學校は敎科目及び敎授方法等稍々整ひ進步の度亦見るべきものあり其他私立學校は如何なる山間僻地と雖も校舍を設立し多きは六七十名少なきは十五六名の學童を敎育し居れり然れども財源の乏しきと授業方法の不完全なると敎師其人を得ざるとに依り多くは寺小屋的なり公立普通學校を除く外智育德育に重きを置き體育を加味するは稀れなり女子敎育をなし居るは元山、咸興にして其の他の地方は皆無なり

咸鏡北道に於ては有識者は文明的敎育を獎勵しつゝあるも僻邑の人民にありては敎育の觀念に乏しく一方に於て出費の困難とに依り敎育は殆んど不能なり穩城には稍々秩序正しき新敎育を施さんと公立的の學校を設立しありしも資金缺乏の爲め維持に窮し目下休校の狀態なり然れども會寧邑及び鏡城に於ては日本敎師を傭聘して盛に敎育をなし稍々進步の狀態にあり（完）

韓國啓發と各府縣

農商工部は福岡名古屋兩共進會の開催を機とし韓國に於ける吾が邦人の現狀を紹介せんと欲し各種の圖表を出陳したるが更に是等邦人が經營事業に對し各府縣が如何に保護獎勵を行ひつゝあるかを照會せしに四十三年度縣費豫算額は左の如し

府縣別	四十三年度	保護目的
長崎縣	八、〇八〇圓	漁業獎勵の爲め
佐賀縣	六、七〇〇	同
熊本縣	三、二〇〇	同
鹿兒島	八、八〇〇	同
大分縣	三、〇五〇	同
同	六〇〇	農事經營の爲め
福岡縣	一三、八〇〇	漁業獎勵の爲め
愛媛縣	六、八〇〇	同
德島縣	二、五〇〇	同
山口縣	一〇、〇〇〇	同
岡山縣	六、〇〇〇	農事獎勵の爲め
兵庫縣	一、八〇〇	漁業獎勵の爲め
島根縣	五、二〇〇	同
同	四、〇〇〇	農事獎勵の爲め
鳥取縣	五、〇〇〇	漁業獎勵の爲め
京都府	二、五〇〇	同
大阪府	八〇〇	同
高知縣	一、五〇〇	同
愛知縣	一、〇〇〇	同
千葉縣	五、〇〇〇	同
石川縣	二、七一二	同
富山縣	二、〇〇〇	同
福井縣	二、五八〇	同
合計	一〇三、六二二	

以上は單に縣費所屬のもののみ揭げしが尚ほ此の外に郡費より保護獎勵を受け居るもの尠からず而して四十二年度以前に在ては累年羸く可き巨額に達し居れり還は更に詳報する處あるべし

●米國總領事の歸國 京城駐在米國總領事シドモア氏は來月上旬當地出發三箇月間の豫定を以て賜暇歸國の途に就く由同氏は日本に駐在すること前後二十餘年に及び克く我國上下の事情に精通せる人なりといふ

●信夫淳平氏の消息 信夫理事官が墺國大使館一等書記官に榮轉せし由は既報せしが氏は近日中赴任の途に就くべく家族は敎育上の關係あるを以て東京に殘し單身渡墺すると

●第二次の仁川民會 仁川民團四十三年度豫算案及び學校改正總調查委員會は十八日結了せしを以て來る廿二日第二次民會を開く筈なり

●碧蹄館の講演 既報の如く統監府地方部有志の發起にて今廿日碧蹄館に文祿の古戰場を搜り廣田文學士の征韓役に關する講演ある筈にて既に會員の數も纏まり居れるが、同行希望者は當日午前九時南大門驛に至り世話役に名刺を交付すれば希望に應ずる由發着時間及び乘降驛は左の如し

一、往路南大門九時十分發一山驛着二里半餘にして碧蹄館に達す
一、歸路一山驛發五時五十二分列車にて歸京 但し會員は片道馬車を用ゆ

●理事官等の出張 能勢大邱理事官は十八日金泉に出張せしが翌十九日岡田警察部長も同地に向へりとの報あり

●龜山理事官入京 釜山理事官龜山理平太氏は十八日入京山本旅館に投宿

●片山盛氏の入京 臨時測量部工兵大尉の氏は十八日入京山本旅館に投宿

●金谷三男氏歸任 滯宿中なりし天安憲兵隊附二等軍醫の氏は十八日歸任

●山形中佐の歸京 江原道巡視中の京城憲兵分隊長山形中佐は十八日歸京

龍山通信（十九日支局發）

▲木越第六師團長は守備隊の狀況視察の爲め本日龍山出發黃州を經て平壤に向はるゝ筈三泊の豫定▲步兵第十三聯隊は新兵第一期の敎育檢閱の爲め來二十二三兩日晝夜に亘り龍山練兵場に於て空砲發火演習を行ふといふ▲軍樂隊は本月末より一箇月三四回宛龍山練兵場に於て行進奏樂の演習を爲す由▲龍山に火葬場の設け無きは心ある居留民の甚だ難き苦惱を感ずる處なるが當局に於ても此に留意する處あり頃者麻浦龍山間に三個所の地區を見立てたれば其中より最も恰好なるを撰むで指定することゝなるべしと▲龍山元町四丁目上山某なる者龍山に製紙會社を設立すべく目下準備中なりと昨記者が同人に就て問合せたるに答へて資本金は合資組織にして十五萬圓工場は大韓婦人會所有の元兵機廠の建物を之れに充てんが爲め目下讓受けの相談中而して製紙原料は慶尙道全羅道地方には楮及野生の藤甚だ饒きを以て同地方より充分の供給を受け得べきも差當り京城、龍山仁川等にて蒐集せる襤褸及近幾沿岸の漁夫より古網を買取りて之れに充つる所存なりと云へり▲成立せば有望なる事業ならんも唯十五万圓の出資者の姓名にはマークを附すべきものと見たり▲龍山元町四丁目裏手の丘上に監獄署を建築せらるゝ由此頃に至り居留民の間に知れ渡り然るに同所には既に京城の避病院ありて龍山の發展上大なる障碍を蒙り居れる其上に監獄の建築は甚だ難有からず如何に佛の樣な龍山居留民も頭上に居糞を載せられては似合ふの似合はぬのゝ沙汰にあらずなぞと驚いてことを云ふものもあり中に監獄は尙且可避病院は取除けざるべからずといふものあり此處何か一問題起るやも知れず

▲治外法權▼

▲政友會の修正した、亂暴なる米輸入稅案も幸に貴族院に於て否決された、大政黨の橫暴は今や世人の同情を失ひ進んで怨府とならん形勢が見へる▲大朝の天聲人語に「曾禰統監は相變らずブラ〳〵病氣がよくないのに死ぬ迄辭職せぬと頑張るので政府も手を附けられずに居るらしい恐ろしい決心をしたものだ、統監と餅が何處迄も同じ運命なのも不思議ぢやないか」と後段の運命云々は頗る奇拔だ▲露領在住の清國人に特別稅金を課し一般政府事業に外國勞働者の使役を禁止する權力を黑龍江總督に附與するの件は露國大藏省委員局の議事に附せられたと云ふ事である▲來る廿八日九日の兩日歌舞伎座で大坂汎愛扶殖會の慈善演藝會を催ふすそうだ、近來慈善に名を藉り殖民地の金を內地へ持つて歸る事を企てる連中が漸く多くなつた處へ進んで寄附を受くるは可なれども從來の如き不實的行爲をせぬ樣今度の發起者に望む▲二十日は日曜二十一日は祭日で二日のドンタクを如何にして暮さんか春色漸く動く杖を郊外に曳く人も多からん、それにしても碧蹄館の講演は實に結構な思付だ殊に同地方は雉獵に便なりと云へば銃器を携帶するも又面白からふ

妖婦捲れ銀(六)

滿韓富源は元より米本國を荒せし女の素性を聞きしのみにて半分度膽を奪はれし○○の事なれば此末何となる事やらと只々恐ろしさに慄ひ上り遂に引ッ縣りし此方が因果と觀念し三千圓と云ふ大金を投げ出し此れにて當麗に手を切らんとの相談となりしも既に足元を睨みしれ銀は中々に夫れ位ひの金にては承知せず是非正妻にと取り込む始末うらかうする内噂は次第に廣まつて○○の細君の耳に密話の這入りしより今度は内輪よりも火の手は揚りて○○は身動きも出來ぬ板挾みとなりし苦しまぎれ襲う惑うなりと勝手にせよと其儘そこと雲隱れ當地の友人某の元に逃げ來りしが斯くと知るやれ銀は直樣後追ひ縣けて來京し借直と面談の上の落着は金三千圓を○○より手切金としてれ銀に渡し尚一ヶ月の後には當京城にて相當の料理店を開業さすべし先づ夫れ迄は○○の友人某宅に寄食なし居る事と云ふ條件なりしが是れ去月二月半の頭にして自後れ銀は終日弄花や三味線に氣樂な月日を送りつゝ漸く期限の一ヶ月の過ぎ去りしより料理店開業の督促を○○に迫れど一向に埒はあかず目下紛紜最中なりと云ふが聞く處に依ればれ銀の魂膽は中々深うして野心を京城三界にて料理店開業抔は思ひも寄らず其の資金を握るが最後高飛びして未だ雲の低い樺太附近にて手腕を振はん計畫にて既にれ銀が男妾なる栗山某と云ふ優さ男はつい四五日前れ先に御免と出發なし落ち着く先はコルサコフの大泊りとかにて一切の準備を了りて待ち合すとの手筈の由なるが去りとは大膽不敵の女哉外面女菩薩内心女夜叉容貌の美は遂に田舍出の娘れ銀をして斯く迄の妖婦と化せしむ果して今後のれ銀が成行は何となるべき(完)

店員の横領罪

▽水代を着服して遊興

仁川松坂町木村組雇人なる福岡縣朝倉郡夜須村嘉平次男平田嘉一郎(二三)と云ふは月手當僅かに廿圓なるにも拘はらず昨年節季より日進樓の園子さては吾妻樓のぽん太、喜安樓の鈴子の許に繁々と通ひ詰め園助には二圓五十錢の人形を贈り同じくぽん太には銘仙の羽織を贈り鈴子には帯を買ひ與ふる等大盡風を吹かすれば近頃より掠島の掛りたれと右三人の娼妓等は殆ど競爭の有樣にて嘉一郎の住む家の電話八十四番に呼出しをかけ暴門前に出張りて引張合ひを爲すと云ふ騷ぎにて既に今まで費消せし金額の如き數百圓に達するより仁川署刑事は嘉一郎の身邊に注意し密かに犯跡を捜査したる結果彼れ嘉一郎は木村組の飲料水販賣係を擔任せるを何寄りの仕合せとなし始めの内こそ正直に帳簿に記帳して職務大事に勤めしたれ弗々惡魔に魅せられて浦島遊廓店よりの水代三十圓四十錢を横領せしを手初めに光濟號及び建築所其他數十ヶ所に販賣せし水代を横領し亦たは詐欺し其額數百圓に達したり而も其金は全部敷島遊廓三樓に消費せしのみならず京城清月仁川猫島新地、れかめ大君、東洋軒等にて悉皆費消せし事實を探知せしかば一昨日仁川署に引致して嚴しく訊問したるに右の顛末殘らず自白に及びしかば直に檢事局に廻はしたりと

三面電報

▲横濱の大火 今朝一時二十分横濱野毛町三丁目より火を失し折柄南風強く花咲町全部を燒き拂ひ高島町に延燒し其慘狀目も當てられず今迄にて一千戸を燒き拂ひ尚盛んに燃えつゝあり

●仁川韓人謀殺事件

▽次號に於て詳報せん

仁川松峴洞に於て一昨日午後十時頃韓人謀殺事件ありとの急報に接し仁川署より野村警部は警察醫と共に現場に出張して取調べたるが其詳細は犯跡捜査上妨げとなる點あれば次號に詳報す

●京城座の大改革

▽れ手輕の觀覽方法

本町八丁目の京城座は場所の片寄りたると入物の餘りに振はざるとに依り多く世人の注意を惹かざりしが今度れ駒染の新俳優伊井黨が興行主任となり從來の座員の外曾つて愛澤一座にありし桂木、角村、美崎其他二三と田宮一座にありし二三又伊東一座にありし某々等を驅り集め合同的多人數の一座を組織し高級なる演物を選び各優競技的に昨日より開演したるが向ふ十日間は其披露の爲め十錢均一として十日以後は二拾錢均一に直し同時に一ヶ月通しの觀覽券を發賣し一人分一ヶ月二圓と定め其外夫婦券なるものを拵へ三圓にて發賣する由尚ほ衣裳、道具萬端から客扱ひに至る迄總べて從來と面目を異にし大に發展すると云ふ

●悪い古物商人

熊本縣生れ住所不定の古物商磯野文吉(四三)と云ふは本年二月廿五日旭町一丁目武安庭造方に至り同人所有の博多帯二筋縮緬襦袢右格價十二圓五十錢の者を賣却し遣らんとて受取りながら之を勝手に賣却入質なして私消し又三月三日より三月十一日迄の間北米倉町の五島旅館に宿泊し旅料金五圓五十錢を支拂はずして逃亡したる等の事露見して一應取調の上一昨日檢事局送り

●瞞着の金指輪

愛媛縣生れの尾崎道雄(三五)と云ふは先日來仁川尾崎旅館に宿泊し一打二圓五十錢の僞金指環を以て世人を瞞着して高價に賣捌かんとて目下魂膽を凝らし居れる由なるが同品は裏に純金と銘記しあり一見純金と見紛ふばかりの品物なれば仁川の質商及古物商人等は注意こそ肝要なり

●慈善演藝會

大坂汎愛扶殖會京城慈善會にては來る廿八九の兩日午後六時より當地歌舞伎座にて廣く有志の賛助を乞ひて慈善演藝會を開催するなるが其の演奏目錄は左の如し

▲開會の辭(有志者)▲幻燈(本會現況)▲筑前琵琶(東京名手阪口旭穎女史)▲講談(東京名師秦々齊柏葉)▲博多二輪加(有志者、第一日一、不慈善家と孤兒の涙二、親の心、第二日一、十年後の有様二、寶の海)▲活動寫眞(扶植會式頗る嶄新數十種)

●行旅病者

愛知縣生れ當時櫻井町五十番戸菓子職櫻並喜三郎(五〇)は客年十月以來肩審の處にて菓子職營業中同十二月頃より病氣に罹り療養中資力なき爲め近隣の者より救恤を受けて漸く其日を送る内昨今病勢俄かに重り醫師の手に掛けざれば六ヶ敷なりけるより遂に其の保護方を南部署へ申出づ

神と佛

▲日本基督敎會 旭町四丁目の同敎會にては午前九時半より日曜學校同十時半より禮拜說敎石原牧師の「靈的招致」午後七時半傳道說敎同氏の「神國民の資格」あり▲京城基督敎會 日の出町の同敎會にては午前九時半日曜學校同十時半より禮拜說敎午後七時半より傳道說敎あり演題は「信仰の勝利」及「人生の轉機」にして演士は米澤牧師なり同士は先般歸朝中なりしも去る十七日歸京せり

目と耳

▲歌舞伎座 開演當日より大入りの大拍手を占めつゝある同座の活動寫眞本晩の替り影畫は次の如くにして本晩より三十錢の均一早い者勝ちとの事也

○太西洋鮭漁壯觀○債主と若夫婦○七月卅一日大坂大火實況○佛國文豪傑作集の內谷間の白菊○極彩色巴里ダンス○忠臣藏全部○中村雁次郎富士登山○滑稽廣告張○世界四大悲劇の中二人女優○細川血達磨○極彩色大道具魔術鬼と美人

▲壽座 同座の二十一二三の三日間の替り狂言は左の如くにして大切松づくしは別項の如く曾我廼家一派の獨特なりとの事なればさぞ面白かるべし

(二十日)一番目御祝儀寶の入船(一場)二番目女房違ひ(二場)三番目抜け雀(二場)四番目無言ポンチ書(二場)五番目忠臣藏五六段目(三場)大切喜劇十八種の内二人袴引拔き籤をとり

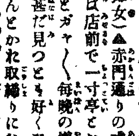
(廿一日)一番目祝儀寶の入船(一場)二番目れ化の競爭(二場)三番目鄰のかるかや(二場)四番目禁酒(三場)五番目喜劇二人袴引拔き籤をとり

(廿二日)一番目御祝儀大入祝ひ(一場)二番目是は意外(二場)三番目白石噺(三場)四番目ヤッピリー(一場)五番目二人袴引拔き松をとり

▲京城座 同座今明晩の替り狂言は本晩『芦分舟』明晩『兄殺し』にして其の配役は左の如し

本晩 看守長野村直人(伊井)子分一公(花井)紳士山村五郎(千葉)銀行員萬里布一(川崎)藝妓てもん(金澤)芦名二郎(桂木)子分仙木(田中)銀行員山根虎一(高山)芦名太郎(高島)幇間一八(上田)押丁山尾市助(湖)子分八公(八島)看守百村一介(異部)下僕牛松(秋岡)子分吉公(光田)西浦娘れはな(三好)やらずの源次(美崎)警部西浦三郎(瀬川)

明晩 紳士土井達夫(伊井)下女れたけ(花井)村長津々見(川崎)藝者小ふじ(金澤)清水三郎(桂木)遊人銀次(田中)同金次(高島)小河鐵造(上田)刑事木村(湖)直夫吉公(八島)紳士岩本(異野)書生熊谷(千葉)同山形(秋田)同山本(光田)清水母梅(三好)清水二郎(美崎)若村公殺人(瀬川)



京城の藝妓には隨分近眼が多い、就中甚だしいのは蝶々の蝶八で四度の眼鏡を要するも當地にはそんな度の低い眼鏡は賣つて居ないそうだ、之れに續くのが井門の奴でレンスは十五度其他同樓の政子も近眼、翆翠の文之助は一眼失明尤も之れは生れ附かぬソコヒを患つたからだ併し近眼の目元はなんとなく色氣があるゲナ▲一寸と出て一寸引込む花月の房江拍子二度の御目見得後數月ならずして過ぐる二月の初めハト日本へトウマンカツツを極め込んで居る▲井門の雛子は近來非常に人氣宜敷く同年輩中では僅かに中券第一と言はれて居る併し口元の締らぬは玉に疵だと並び同樓切つての流行妓となつた今福は所謂江戸式の氣前と愚鈍なる手腕とで賣るも駒猫の方は他迄も地味で優さしき氣達で同情を惹ひて居る香は寧ろ後者を愛す▲一昨日の新町遊廓登樓客は七十九名にして其の消費金高は四百十一圓三十四錢なり▲仁川猫島新町淀川樓の抱酌婦濱邊とく(十八)土肥うめ(二三)の兩名は一昨夜ドロンを極め込んだが宮町徳守嘉一郎方で取押へられてギユー(郎雀)

●曾我廼家の松盡し

▽本家本元以上の技藝

壽座に開演中の曾我廼家一派喜劇の今明兩日の切狂言に演ずる松盡しは同一派が本家曾我廼家より分離する際特に興行權を得たる者にして座員總出にて綱樹に均しき肉襦袢を着し兩手と口には緑の葉形を持ち歌に合し多數の人間が枝葉となり松の形を作る趣向にて曾我廼家一派第一の呼物となり居れり尚は今回の一行は曩きに中國巡行中播州に於て親しく高砂の松を實檢し頗る研究を重ね居れば今では本家以上の技藝と呼ばれ居れりと

▲平民文庫▼

▲京城では酌婦も韓妓も娼妓も悉く檢黴を勵行せられるが唯り藝妓には此れがない少々偏頗ではありませんか所謂上流の方々の爲めに其の檢黴を希望するものであります(饒舌子)▲贊成であります(小僧)▲新町の高野山に居た中村と云ふ納所坊主は本町八丁目通ひが過ぎた爲め遂々放逐せられた其の後も八丁目の淫賣と或る温突に住んで居る内病氣に罹つて困つてたが今は眼鏡なんぞ掛け込んで威張臭つてるが何うせ碌な事をして居るのでは無かるまいなア(善知女)▲赤門通りの或る雜貨店の雇人達は店前で一寸亭とか何んとかの淫賣婦とガャ〳〵毎晩の樣に巫山戲て居るが甚だ見つとも好くないから主人さん何んとかれ取締りになつたか宜しからう(通行人)▲僕の所の出入雜貨店から一雇人を遣ひ込みの爲めに解雇しましたから一切關係御座いませんと云ふ通知のあつた二三日後其の男が雜貨屋を初めましたから御贔負をと云つて來た主人の金を遣ひ込むさへあるに解雇されてから舊主人の得意荒しをするなぞは人の皮着た犬だ(憤慨男)▲南山樓の小梅は美人の上に年に較べて客扱ひが非常に上手だとの評判である次に○○衣重は東京の或る女學校に通學中父の失敗の爲め今の身の上となつたと感心な次第では御座いませんか(れ染久舞)▲其れ買ならば感心だが女郎の身の上話しは皆んな左樣云ふ風だからツッカリ感心は出來兼ね申候(小僧)▲公然の遊廓新町より桃山より中の新地が大繁昌である身代でも安いのかと思へばそうでもない場所の宜いのも大なる原因ではあらうが他にも何か原因なからずとせんやだ(放蕩歷史)▲新町詰探偵雀君の投書は實に備にして要を得て居る然るに南山樓の小梅、衣重、房榮、南緑の四君は此の投書を○○君の爲した業だとして大に立腹して居るそうだが同君の爲めに甚だれ氣の毒に堪ねない彼れ等を知つて居るもの必ずしも○○君のみに限らんやである(同情生)

●休刊

廿日は日曜廿一日は春季皇靈祭に付き廿一日並に廿二日の本紙は休刊とす

吉凶録

本町五丁目 三一館判斷

三月廿日舊二月九日六白歸滅甲申執△一白 會心の日なり大抵吉子孫の計を爲し飼畜雇入れには適好とす△二黑 遺失紛失防ぐべし他は平凡とす△三碧 不快の日なり新事見合せの事金品授受計算證書帳簿に間違起らんとす△四緑 厄日なり細心の謹愼を要す盜難横領防ぐべし新事改易の事凶△五黃 濁失念を生ずる勿れ貸借賣買には不利とす△六白 受任寄托を避くべし交際上紛爭あり新事見合の事△七赤 中傷誘惑に罹る勿れ爭論紛失防ぐべし△八白 決算の事留意すべし△九紫 親戚知友の事に付世話事若くは煩累あらん新事見合せの事旅行命名被話凶

三月廿一日舊二月十日七赤大安乙酉破△一白 榮達の日なり旅行入門婚姻職業に吉檢分調査等效なし△二黑 家族又は家庭内に些少の煩累あらん其外吉△三碧 交際取引上破れ易し總じて不如意の日なり建築動土に吉△四緑 盜難横領防ぐべし新事及改易の事效なし△五黃 貸借保證事を忌む其他靖寧少の驚きあらん△七赤 不通の日談判相談契約等凶新事見合せの事△八白 主上又は尊屬親の爲め出捐若くは勞苦あり其他平凡△九紫 銷沈の日とす新事凶尚旅行貸借談合整はず

三月廿二日舊二月十一日八白赤口丙戌危△一白 衰運たり新事見合せの事盜難紛失防ぐべし△二黑 衝突爭論起り無心損害にあふあらん其外吉△三碧 旅行凶詐欺術詭計を防ぐべし盜難紛失注意すべし△四緑 陰鬱の日なり新事及改易の事凶農林業に好良△五黃 業務上失錯起り易し自負淺慮以て悔あり△六白 收利の日なり商買には大に吉旅行開業婚約を結ぶに妙△七赤 契約相談依頼を訂するに改良色情の破れを愼しむべし△八白 新事改易の事凶保證世話事貸借を忌む△九紫 隆昇の日とす相談依頼開業披露子孫の事の取極めに好良

京城居留民團公文

京城居留民團告示第五號

明治四十二年度京城居留民團歲入出豫算追加ノ件左ノ通リ居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十三年三月十七日

京城居留民團民長 古城菅堂

歲入

臨時部

第二款 寄附金 貳千五百圓

第三款 基金繰入金八千〇三十五圓

小計金一萬五百三十五圓

合計金貳拾參萬六千六百九十八圓

歲出

臨時部

第五款 敎育費金一萬〇五百三十五圓

第一項 小學校費金一萬〇五百卅五圓

第一目 校舍新築費金一千七百卅五圓

第五目 敷地購入費金六千三百〇七圓

第六目 舍宅新設費金二千四百九十三圓

小計金六萬七千五百七十一圓

合計金二十三萬六千六百九十八圓

京城居留民團告示第六號

明治四十二年度當民團歲出豫算左ノ通リ更正ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十三年三月十七日

京城居留民團民長 古城菅堂

歲出

臨時部

第三款 居留民團債費

既定豫算額金二萬四千六百七十六圓

更正豫算額金一万八千七百三十八圓

第一項 居留民團債費

既定豫算額金二萬四千六百七十六圓

更正豫算額金二萬八千七百三十八圓

第一目 元金

既定豫算額金一萬五千九百卅八圓

更正豫算額金一萬圓

第二目 利子

既定豫算額金八千七百三十八圓

更正豫算額金八千七百三十八圓

第五款 敎育費

既定豫算額金二萬四千四百圓

更正豫算額金三萬〇三百三十八圓

第一項 小學校費

既定豫算額金二千七百六十九圓

更正豫算額金二萬二千百十九圓

第一目 校舍新築費

既定豫算額金一千二百圓

更正豫算額金二万〇五百五十圓

第二目 設備費

既定豫算額金三百二十三圓

更正豫算額金三百二十三圓

第三目 改修費

既定豫算額金八百四十九圓

更正豫算額金八百四十九圓

第四目 舍宅敷地地均費

既定豫算額金三百九十八圓

更正豫算額金三百九十八圓

第二項 幼稚園費

既定豫算額金二十三圓

更正豫算額金二十三圓

第三項 高等女學校費

既定豫算額金一万六千五百〇三圓

更正豫算額金三千〇九十一圓

第四項 中學校費

既定豫算額金五千百〇五圓

更正豫算額金五千百〇五圓

小計

既定豫算額金五萬七千〇三十六圓

更正豫算額金五萬七千〇三十六圓

合計

既定豫算額金廿二萬六千百六十三圓

更正豫算額金廿二萬六千百六十三圓

●天氣豫報(自十九日午後六時至二十日午後六時)

南西風曇後晴

廣告

美術牛骨標細工其他細類各種 京城明治町 電話一千四百〇九 ふり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行（電一〇七）
●小供入用 但十五歳以下至急入用 龍山元町三 日韓組米店（電三四三）
●賄雇度 三十四歳貨物取扱及通關手續に經驗あり多少英語を解する會社又は商店諸官衙を望む 氏名在社（一〇）
●農園 野菜類 協同者を求む但ミ經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

物件部

●電話譲渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店
●貸家 平家一戸建四間及長家一戸四間數三間場所南大門外吉野町
●瓦葺平家 建坪十五坪乃至十八坪の至急買入たし 電話七四番へ
●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならば最佳 氏名在社
●韓國郵便切手譲渡 日韓未使用紀念郵票書安價譲渡たし 氏名在社（九）

廣告

入院隨意

中島醫院

京城壽町三丁目（電話三七八番）

院主醫學得業士 中島貞信

◎筑前琵琶教授◎

京城旭町四丁目一番地

月友會指南本部 鶴崎覺定

龍山本町二丁目廿二番地

月友會支部教授 東司照子

●●●滋養と牛乳●●●

●●●衛生と消毒●●●

馬車配達

純良 牛乳

京城東四軒町

岡野牧場

電話壹〇六九番

熱心單志多年爲斯道於研微盡奥旨恍然似有得者顯監推薦斷脚陶茫洋聯意匯

京城本町五丁目

易斷觀相教授 三一館

館主 土御門派大陰陽師

眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前

江頭眼科醫院

（電話三三）

漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄



明治廿年七月創立 京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番

東京火災運送海上保險株式會社

資本金一千萬圓 事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

韓國金屬商元祖

和洋金物商 藤釘本藤次郎 本店

舶來品は直輸入 日本製品は產地特約

京城本町五丁目

新案特許品數種着荷 破天荒の大勉强

長電話四五番 電信略號（ク） 振替貯金口座第一三四二二番

神戸養生分院

京城梅毒病院

京城和生町（南門湯横）

◎花柳病專門並、痔（注射療法）

●入院隨意●

院長醫學得業士 塵田辨平

（電話一二九四）

本院は左記の時間割を以て左の諸氏に依賴し各科の診療に從事す入院の需めに應す

外科花柳病科 診察時間午前九時より正午に至る 前漢城病院長 ドクトル・メヂチーネ 和田八千穗

內科小兒科 自午前九時至正午 前仁川病院長 醫學士 松村三省

眼科內科 自午後一時至四時 東京醫科大學選科卒業 院主 瀧澤喜太郎

耳鼻咽喉科 自午後一時至四時（但し毎月四回一日五日十五日廿五日） 醫學得業士 赤羽學

婦人科 自午後一時至四時 醫學得業士 天ケ瀨健六

龍山居留民團囑托

龍山醫院

龍山榮町（文平山麓）

院主 瀧澤喜太郎

諸官衙御用品調達

醫業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

人造

委託販賣

東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山韓國鹽合資會社食鹽特約

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）

出張所 東京十番地 南大門 京城電車新橋 銅町一丁目 二九六三橋

諸荒物世帶道具 一切

其他和洋蠟燭 アサヒ サツポロ ビール 精白米

右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候

日用雜貨卸問屋 ㊄ 西崎嘉七本店

京城本町六丁目

電話二一〇番（二カ） 振替貯金口座幹七番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本

諸官衙御用

ハリモト 播本商店

京城本町六丁目 電話百拾番

齒科治療

本町六丁目

ドクトル 中村安子

（鮫そば橫町）電話一五八三番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館

（電話一一一五番）

名し道樂 開業御披露

▲大坂美人の給仕▼ 一人前三十錢

鯛 松たけめし たなしく
あなご 竹の子めし たなしく
鷄 ゑんどうめし たなしく

めし道樂は他に沢山ありますが此道樂をなくて七癖と申しますから隨分色々の道樂もありますが就中めし道樂はど、よい道樂はございません、此道樂を發揮せん爲め、わざ〳〵大阪表からわり拔きの美人を呼びよせ釜のまゝ御座敷の眞中に持運び御客樣の御嗜好に任せ按排加減を程好くして差上ます何卒御賞味かた〴〵御來遊の程ひとへに願入申ます尚多少によらず出前も御便利に迅速にお屆け仕りますから御用命の程御願申上ます

大和町三丁目 梅の家眞向ひ

明月

電話七三五



藥の眞の道も用ひ方次第
人の血の道
婦人病の宮
子宮の病
如何に難治の婦人病も全治す
本舗 東京 津村順天堂
支店 大阪

特約販賣

味噌醬油製造元 漬物問屋

京城本町五丁目

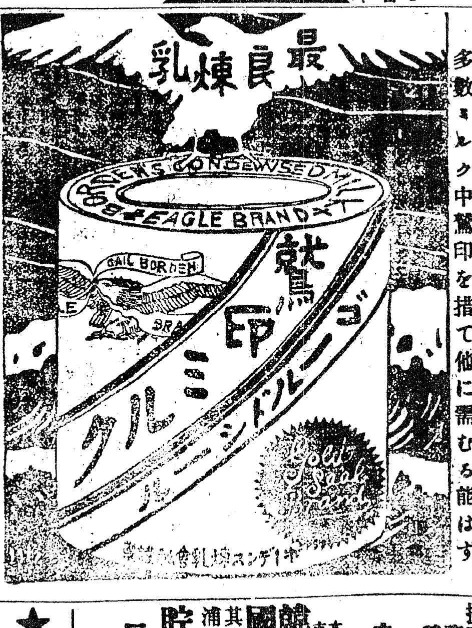
大上商店

（電話二五一番）

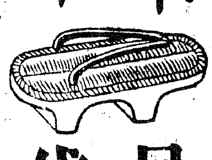
自製 和洋酒、罐詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本酒、洋酒、醬油、醋、穀物、麵類、銘茶、各種特約販賣、御注文に依り商品切手調進仕候

●正味十六オンスの容量あるは全國輸入の多數ミルク中鷲印を措て他に需むる能はず

最良煉乳



東京 足袋



本店東京

大和屋 藤井出張店

京城大和町一丁目（日の出橋際）

電話二百〇五番

明治町勸商場內ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行

危險擔保附運送 品代金付貨物運送

內國通運株式會社

京城南大門驛前 京城支店 電話一七九番 電話七〇八番

仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番

草梁驛前 釜山驛前 釜山出張所 電話九一六番 電話六三七番

龍山驛構內 龍山出張所 電話二〇六番

京城鐘路の喰物は何んだろー

裁判所前の洋食店 鐘路軒の

松茸めし 酒一本 外和洋料理五品付 一人前六十錢

價が安くてうまくてはらがたまるよ皆さん一度たべてごらんなさい

又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる極く便利ですよ

電話壹四二九番 客用有ます

◎監獄辨當の差入も引受ます◎

株式會社 十八銀行 京城支店

京城南大門通

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾五萬圓

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市樂町（電話四二〇）

支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原

韓國 日本 五島、壹岐

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢二厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

★株式會社 百三十銀行 韓國京城支店

京城本町二丁目十五番地 電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野

東海道 住吉、茨木、下市、東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 米子、境、松江、今市、大田

山陽道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、玉島、龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、原、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、綱干

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、洲本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尚州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候